

したが  
従う

ついていく

誰の後に  
なら、安心して  
ついていけるか  
考えて、  
つぎの空白に  
書いてください。

したが  
イエスさまに  
従う

イエスさまが「狐には穴があり、空の鳥には巢が

ある。だが、人の子には枕する所もない」、「わたし

に「従いなさい」と言われたのはどういう意味なので  
しょうか。

「私は神を信じます」と言っても、ただ神に何か

してもらったり、神から何かをもらったりする事だけ

を期待していたのではいけないのです。自分も努力し

て、できるだけのをしてイエスさまに従うつもり

でなければ、期待はずれに終わってしまいます。

神を信じれば何か御利益にあずかると人は考え

がちです。人が宗教を信じる動機の一つには、困っ

た時に願ねがいごとをしたたら、たまたまかなえられたから  
ということがあります。でも、イエスさまに従したがうの  
であれば、そうした考かんがえは捨すてないといけません。

## 生活せいかつを振ふり返かえる

毎まい日にちの生せい活かつの中なかで、少すこしでも自じ分ぶんでできる事ことを探さがし、  
実行じっこうできるよう努どり力よくしていく事ことが大たい切せつです。そのため  
には、いじつも自じ分ぶんたちの生せい活かつを振ふり返かえり、このままの  
生せい活かつを続つづけてもよいのか、自じ分ぶんたちの回まわりの事ことをよく  
見みて、判はん断だんする必ひつ要ようがあるのです。毎まい日にちの生せい活かつの事こと  
はほつつておけといエすさまが言いわれたと取ひつる必ひつ要ようは

ありません。自じ分ぶんが何なにを優ゆう先せんして行こう動どうすべきか考かんが  
えるように、イいエえさまは求もとめたのです。

努どり力よくもしないで、たただ何なにかしてもらう事ことだけを期き待たい  
していたのでは、イいエえさまの弟でし子しとしてふさわしく  
ないのです。イいエえさまにしたがうためには、弟でし子しとし

ての覚かく悟ごが必ひつ要ようなのです。

